

兵庫県のり漁場環境情報 (淡路周辺海域 4 号)

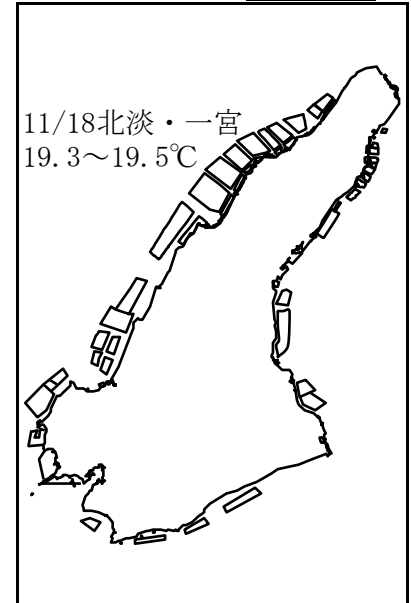
2020年11月18日発行
兵庫のり研究所

大型珪藻コシノディスカスは海域毎により発生量に大小見られており、依然として多い状況にあります。栄養塩は一部地点を除き、全域で概ね $1 \mu\text{g-at}/\text{台}$ の低い値となっています。

(珪藻ほか)

各地点のコシノディスカス発生量(海水1Lあたり)は以下の通り。
北淡一宮：300~400細胞、灘：250細胞、東浦：350~500細胞
前回調査と比較しやや減少しているものの、この海域としては依然多い状況。鳥飼~阿万の海域にかけて、コシノディスカスが殆ど見られずノクチルカ(夜光虫)が確認された。特に湊漁場の採水サンプルではかなり多く、これらの影響もあり同域での栄養塩はやや高い値であった。

水温図



		前回値	今回値	平年値	昨年値
東浦地先	窒素	2.1	1.2	5.8	5.1
	リン	0.37	0.28	0.55	0.55
西浦地先	窒素	2.2	1.8	5.6	4.5
	リン	0.49	0.44	0.62	0.59
南浦地先	窒素	1.6	3.7	5.1	2.4
	リン	0.37	0.94	0.58	0.43

(11/5)

(11/15)

栄養塩 (窒素) 図

2020年11月18日調査

